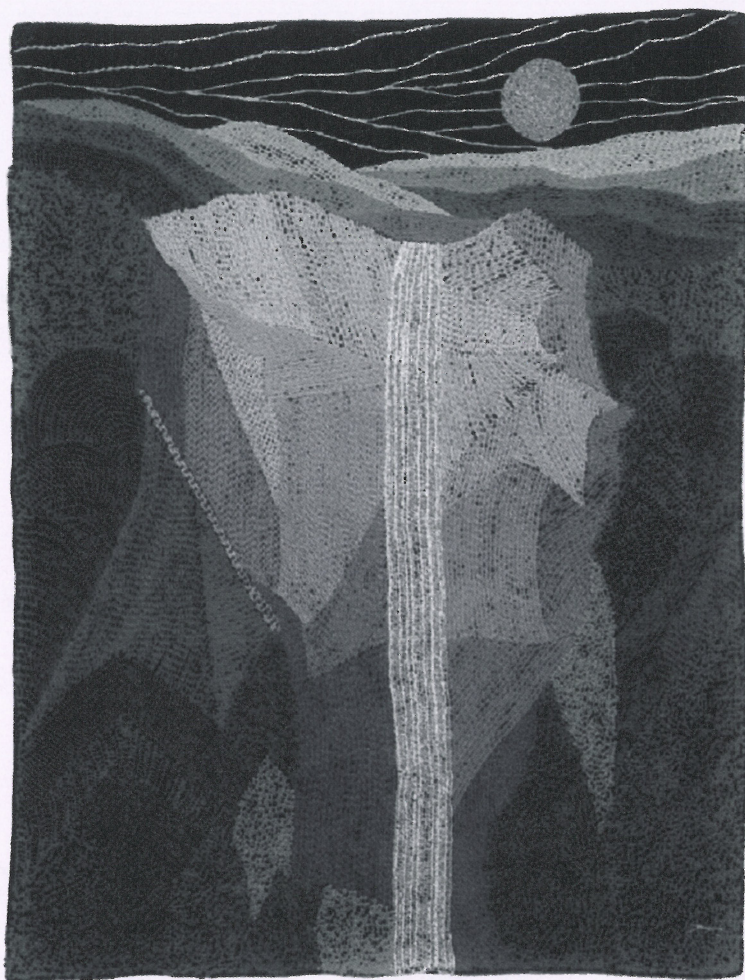


りいぶる

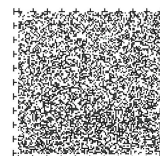
No.55
2012.8

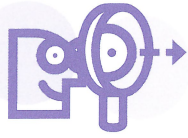


「幽峽」：創作刺繍作家 高野澄子さん作
世界遺産紀伊山地の霊場と参詣道にある、「那智大滝」を題材とした作品
ドイツ連邦共和国総領事館賞受賞（国際芸術交流展神戸 2010）

目次

- ① りいぶる★アイ「男性にとっての男女共同参画って？」
- ② 和歌山男子の今
- ③ 講座レポート
- ④ “りいぶる” 講座・イベント案内
- ⑤ 地域の子カラ
- ⑥ あなたのサードプレイス “りいぶる” へようこそ
和歌山県男女共同参画基本計画【第3次】を策定
- ⑦ 「男女でつくる元気な和歌山」ポスター募集
“りいぶる” 相談室





男性にとっての

男女共同参画って？

これまでの社会では、人々の意識や慣習などから「男は働いて妻子を養う」「女は家事・育児をする」といった性別での役割分担意識にとらわれ、自分らしい生き方を選択しにくいことがありました。しかし最近では、そういった性別で個定化された考え方ではなく、自分らしい多様な生き方や働き方を選ぶ人が増えてきました。男性のなかには、「育メン」「家事ダン」※などに代表されるように、従来は女性の役割とされてきたことを積極的に楽しむ人も増えています。 ※「育メン」：育児を率先して楽しむ男性。「家事ダン」：家事を積極的に担う男性。

男性が、仕事だけでなく地域や家庭でも役割を持ち、イキイキと活動することは、女性の社会参画の機会が増えるだけでなく、男性の人生も豊かにします。男性も女性も一人ひとりが自分らしい生き方を選べる社会の実現には男性パワーも欠かせません。

まずは、「男らしさ」のヨロイをぬぎすてませんか？

ヨロイをぬぐと今どきの「イケダン」※になれるかもしれません。

※「イケダン」：これまでなかなか男性が立ち入らなかつた領域に進出しようとする「イケてる男子」「イケイケ男子」などの略語といわれている。

パパなら…

育休取得、PTA活動、家事ダン、専業主夫

家事なら…

弁当男子、洗濯王子

地域なら…

自治会、NPO、オヤジの会、ボランティア

孫育てなら…

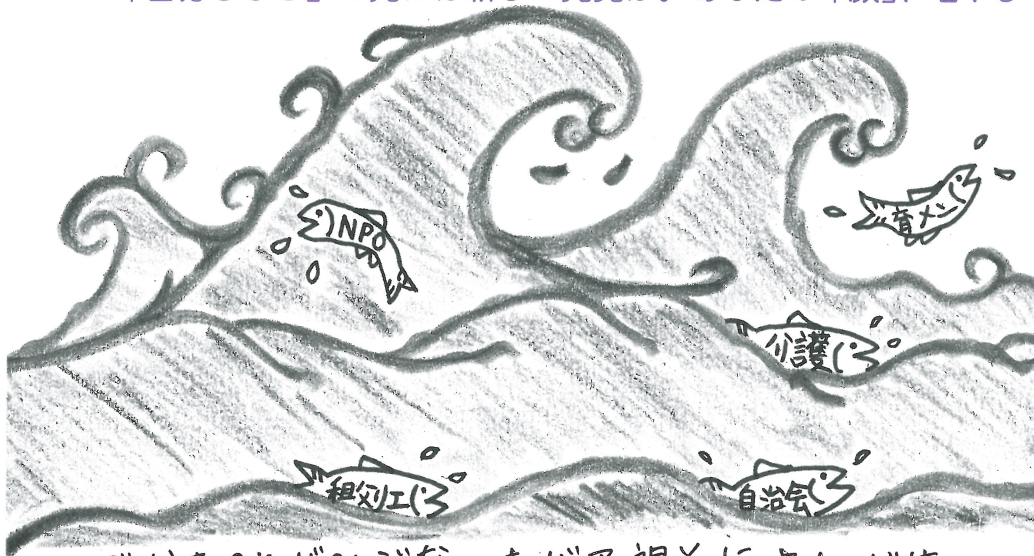
祖父リ工、子ども見守り隊

介護なら…

男性介護者の会、ボランティア

and more…

「自分らしさ」の先には新しい発見が。あなたの「顔」、増やしてみませんか？



仕事以外のムーブ(活動)が
豊かな人生の
ウェーブ(波)を起す

ともすれば仕事中心の生活になりがちな男性が、家庭や地域に関わることで思いもよらない発見や感動に出会うことがあります。そして、そうした体験は、視野を広げ、仕事のアイデアや活カにつながるというメリットもあります。結婚や育児、リタイアなど様々なライフステージで一歩踏み出してみませんか？ その一歩が男性の豊かな人生と、家庭や地域全体の暮らしやすい環境を生み出すきっかけになるはずです。

男性にとっても生きやすい社会の実現に向けて、県内でも様々な取組が始まっています。積極的に活動している男性の団体と、和歌山市の新しい取組をご紹介します。

男たちの読み聞かせサークル「よみきかせオヤジの会」

会長 中西 哲也さん（御坊市）

中西さんが自分の子どもに読み聞かせをしたとき、子どもがとても喜び距離がグッと縮まった体験から、御坊市青年会議所の男性メンバーを中心に会を設立しました。御坊・日高など紀中を中心に30～50代のメンバーが、保育園・幼稚園や小中学校、地域のイベントなどで「おはなし会」を行っています。

メンバーは、読み聞かせを通じて相手の気持ちになって考えることや、人の心を感じることの素晴らしさを伝えていきたいという思いで、楽しみながら活動しています。今年4月には東日本大震災で被災した地域の幼稚園・保育所と、台風12号の被害を受けた新宮市の保育所で、読み聞かせと絵本贈呈を行いました。

子どもたちの笑顔とお話を楽しむ様子や、子どもたちからもうたくさん感想は、メンバーのやりがいにもなっており、読み聞かせを通じて子どもたちと向き合う活動を、今後も進めていきたいと考えています。

※“りいぶる”HP「モデル事例集」にも詳しく紹介しています。

わかやまパパウィーク 2012

和歌山市では、8月8日を“パ(8)パ(8)の日”とし、その前後1週間(5～12日)を「パパウィーク」と設定、市内各所で男性の育児参加を進めるイベントを行います。この機会に父親の育児参加、考えてみませんか。

【実施イベント】

- ☆8月8日(水) パパの日 パパウィークキャラバン
- ☆8月11日(土) ソフリエ・パパシエ育成講座
- ☆8月12日(日) 家族で参加できる「わかやまパパづくりフェア」



8月中は、民間事業者や団体の優待特典とイベント情報をまとめた「クーポン付ガイド」発行など、パパウィークを盛り上げていく企画がたくさん。詳しい内容は、和歌山市HPまたはポスターをご覧ください。

※お問合せ先：和歌山市子育て支援課 (TEL073 - 435 - 1329)

“りいぶる”でもこんな取組しています!!

男性に向けて発信

地域活動やNPO活動をしている男性を中心に、昨年度に引き続き意見交換会を開催しました。男女共同参画は女性の問題と捉えられがちですが、男性の問題に焦点をあて、話し合いました。

参加者からは、男性は女性に比べ地域での交流が少ない人が多く、人間関係を築きにくい面があることから、それぞれの得意分野を生かしたり、子育て世代の男性を巻き込むことも大事という意見が出されました。

また、活動のきっかけは「友人から」が多く、周りに呼びかけることが必要だと提案されました。

この会を契機に「男の出番をつくる会」というグループを立ち上げ、新たなつながりで活動を始めることとなりました。“りいぶる”からスタートした男性グループ。乞うご期待!



育メン☆家事ダン特設コーナー新設!

“りいぶる”図書室では、「育メン☆家事ダンコーナー」を設け、新着図書も

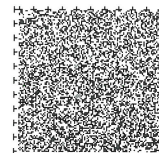


加え約100冊の図書やDVDなどをラインナップしました。男性の育児や孫育て、家事に関する本はもちろん、親子で楽しめる料理レシピ本や育児コミックなど、男性だけでなく家族みんなで楽しめます♪

また、仕事も生活も楽しむワーク・ライフ・バランスなど、生き方・働き方に関する本も充実、仕事と家庭の両立にも役立ててほしいコーナーです。

図書の貸出はもちろん、新聞や雑誌もゆっくり読める読書スペースもあります。仕事帰りや休日ぜひご利用ください。

平日・土曜は夜9時まで!
日曜も開館(夕方5時半まで)



地域力を活かして経済活性化！ ～人口減少時代を打開する秘策～

6月27日（水） 於：和歌山ビッグ愛大ホール

講師：藻谷浩介さん（日本政策投資銀行特任顧問）

ベストセラー「デフレの正体」の著者、藻谷さんが、急速な人口減少に直面している和歌山の経済活性化のカギについて熱く語られました。平成合併前3,200市町村の99.9%を訪れ、地域の歴史や特性をふまえて日本経済を独自の鋭い視点で分析する藻谷さん。多数の県内事業所の男性や大学生など、230名を超える参加者がありました。



はじめに講師は、経済産業省の統計をもとに、和歌山の小売業の売場面積は増えたにもかかわらず売上は減っている実態を紹介、それは東京や大阪においても同様であると説明。東日本大震災の3ヶ月後には輸出が回復し、海外で日本製品は売れているのにもかかわらず、昨年の貿易収支は31年ぶりに赤字であった。マスコミは日本産業が大ピンチと報道するが、実際は原発事故以来、石油やガスなどのエネルギー価格が高騰し、その購入費用が上回っているためと解説。さらに、その費用は日本の経済界において、人件費を削ってまで捻出されているという報道はなく、景気回復が先決と騒がれている。巷の情



報に流されず、基本的な事実をきちんと知った上で考えることが大切だと、話されました。

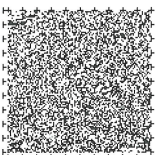
続いて、人口減少について国立社会保障・人口問題研究所発表のデータを示し、和歌山の15歳～64歳の社会を支える中心となる現役世代人口が60年後にはゼロになり、逆に65歳以上の人口が増加するという驚くべき予測を紹介されました。関西や首都圏も同様であり、現役世代は人口も所得も減るばかりで、モノは売れない、高齢者は貯金してもお金は使わない。このままでは日本経済は衰退してしまうと、参加者への質問を交えながら現代の日本が抱える問題点を鋭く指摘されました。

では、日本経済再生のカギは

何か。それは、「女性就労促進である」と断言。日本女性の約半数は働いていないが、働きたいと思っている女性は約400万人いる（2005年国勢調査より）。たとえ人口が減ったとしても、働いていない女性が就労すれば就業者数は減らないばかりか、女性がお金を得て使うことでモノがよく売れる。このように女性の所得が増えれば経済も活性化するのは明白で、特に消費者の目線で商品開発ができる女性を経営者に増やすべきであると述べられました。このような視点が、経済活性化の一番の近道だという認識がこれまでの社会にはなく、女性をうまく活用していないことが課題であり、男女共同参画を進めて認識を改めることが重要だと話されました。

最後に、「女性が働けば出生率が下がる」とは間違った思い込みで、女性の収入を増やし、保育所も整備すれば子どもを生き育てやすい環境になり、出生率が上がることを他府県の実際のデータで説明。和歌山県でも女性が働きやすいように支援すること、そしてほかでは真似のできない和歌山でしか作れないものを少量生産して売ること。それらの産業に女性を雇用し、少しでも給料を上げることなど、女性の活用こそがこれからの地域経済活性化の秘策だと締めくくられました。

参加者からは、「情報をうのみにせず、真実を自ら見極めなければならぬ」と実感した。女性が働くことで日本の経済が良くなるのなら、結婚後も働き続けたい」「経済構造がわかりやすかった。経済活性化は女性の力が必要」「様々な視点から実態を知ることが、いかに大切か教えられた」など、沢山の声をいただき、講師の新たな視点に大きな注目を集めたセミナーとなりました。



“りいぶる” 講座・イベント案内

現在、受付中の講座・イベント

夏休み企画!

“りいぶる” 絵本の広場
絵本の読み聞かせ

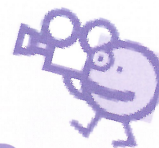


日程：8月19日(日)
14:00～14:50
会場：“りいぶる”一時保育ルーム



“りいぶる”シアター
「ブタがいた教室」(2008年公開)主演：妻夫木 聡

日程：8月25日(土)
13:30～16:10
会場：“りいぶる”会議室A



夏休みは、家族やお友だちと“りいぶる”に遊びにおいでよ～!

これからの講座・イベント(申込などは、今後の『県民の友』をご覧ください)

起業実践セミナー
「夢をかなえる大人の起業塾2012」

日程：10月14日～11月4日の毎日曜日
10:00～16:00

会場：りいぶる会議室A

講師：吉住 裕子さん

(有)未来教育設計代表取締役

※起業予定の方、もしくは起業して1年未満の方が対象

DV被害者支援ボランティア養成講座(基礎編)
「支援のはじまりは、知ることから」

日程：12月2・16日(日) 10:00～15:00

会場：御坊市中央公民館(御坊市藺378-1)

講師：宮野 由起子さん

(有)フェミニストカウンセリング堺 フェミニストカウンセラー

①女性のためのストレスマネジメント講座
仕事や子育て、悩めるあなたに
「ココロを軽くするハッピーセミナー」

日程：9月2日(日) 13:30～15:30

講師：森崎 和代さん(女性ライフサイクル研究所)

②「中高年夫婦のための“維新塾”」
～共に依存しない生き方をめざして～

日程：11月11日(日) 13:30～15:30

講師：石蔵 文信さん(大阪大学大学院 医学系研究科准教授)

※会場は両日とも“りいぶる”会議室A

りいぶるフェスタ2012! ☆11月17日(土)・18日(日) ☆



あの 戸田 奈津子さん(映画字幕翻訳家)がビッグホールにやってくる!

講演「“好き”に生きる～字幕の中に人生～」

日時：11月17日(土) 14:00～15:00 場所：和歌山ビッグホール特設ステージ

♪ステージイベント♪和歌山バトンクラブ

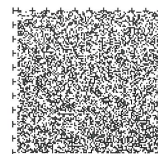
“りいぶる”特設ブースでも皆さまをお待ちしています。

お友だちやご家族で、ぜひ遊びにきてください!!

受付中の講座・イベント申込方法

お名前・ご住所・電話番号・一時保育の有無を、電話・FAX・Eメールで

“りいぶる”までお知らせください。



地域の子カラ



地域で自分らしくイキイキと活動している人を紹介しています。東日本大震災をきっかけに地域での活動を発展させたお二人に、お話をうかがいました。

人と地域をつなぐ Man パワー わかものちからプロジェクト代表 中嶋 繁樹さん (和歌山市)

詳しくはこちら

震災で気づいた地域のつながり



東日本大震災の翌日に、男性が地域で積極的に活動をしていくことを目的に、わかものちからプロジェクトを結成、県内の20～40代男性約150人がメンバーです。

代表の中嶋さんは以前から、子どもの頃に体験した「近所づきあい」のある地域へと、積極的に自治会やPTA活動に参加し、地域で交流を深めて活動していました。それが大きな基盤となり、プロジェクト立ち上げには多くの仲間が集まりました。そして、震災で傷ついた子どもたちの心の支えになればと、2回にわたって約1250冊の絵本を被災地の避難所や保育所に届けました。また、昨年9月の台風12号災害では、新宮市・那智勝浦町・美山村などでメンバー約50名が泥だしなどのボランティアに参加、これらの活動から、地域のつながりの大切さに改めて気づいたといいます。

現在は、メンバーそれぞれの地域で、避難場所の確認や自分の命を守る意識を持ってもらおうと、防災意識調査を行っています。

地域の子どもは自分の子ども

趣味や遊びのなかで活動へのヒントが得られることも多く、「できる人ができることを。遊び心を持って」というモットーが活動を長続きさせると話す中嶋さん。若い世代へのアドバイスや相談に乗ることもあり、メンバーと語り合うなかで自分が気づかされることも多いといいます。

二人の子どもの父親でもある中嶋さんは、子育ては母親だけでなく父親がともに担うことが大切で、また、地域の子どもも自分の子どもとの思いで、近所の子どもたちと遊び、見守っていきたくと語られました。子育て支援にも積極的に、今年3月には育メンパパによる絵本の読み聞かせや、和歌山市発行の「イクメンNOTE」に「父子手帳」を付けることを提案するなど、作成に協力しました。

今後は、男性同士で語り合える場や、家族みんなで楽しめるイベントも計画中とのこと。「地域で人の輪を広げ地域の力となること、和歌山の力につながる」と、次世代への思いを話されました。



育メンパパによる絵本の読み聞かせ

子育て楽しむなら和歌山県！一親の思いを地域でカタチに

NPO わかやま子育てサークル本部サンマザー代表 林 明子さん (和歌山市)

詳しくはこちら

つながる思いが地域を動かす

サンマザーは、和歌山市内の子育てサークルを中心に現在65団体が加盟、サークルの情報交換や支援、イベントの開催を行い、主に20～30代の母親が、イキイキと子育てを楽しめる地域をめざして活動しています。

もともと子ども好きだった代表の林さんですが、母親になって初めて育児のしんどさを痛感したとのこと。また、子どもが9か月のとき京都から転入、当初は引きこもりがちでしたが、思い切って参加した地元のサークルでの出会いに心が救われたといいます。その後、サークル代表を引き継ぎ、運営の苦労を経験するなか、他の団体リーダーとの出会いを機にサンマザーを結成しました。

設立後に東日本大震災が起き、初のチャリティイベントを実施、511人が参加しました。そこで得た団結力を活か

して、子育てフォーラムやちびっこ運動会、わかものちからプロジェクトの絵本を贈る活動にも協力。また今年3月には子育てイベントの運営にも携わり、和歌山市発行の「イクメンNOTE」作成にも協力しました。



子育てを通じて「母親」も輝ける

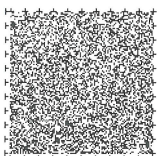
サンマザーでは、個性や資格を活かせる「母親クラブ」をつくり、手芸やスポーツ、絵画など様々な分野で自分の時間を持つ機会をつくっています。なかには起業した人もおり、林さん自身もチャイルド minder 資格[※]を取得し、今年4月に出張託児事業を開業、託児や母親の心理的なサポートを行っています。家族の応援と自分も子どもも楽しめることが、こうした活動の原動力になっていると話されました。

情報があふれ自分らしい子育てを楽しむのが難しい社会環境のなか、サンマザーには身近に必要な情報を、必要な人に手渡せる強みがあるといいます。今後は他市町村との交流や、サークルを巣立ったあとも関われる活動を行い、子育ての楽しさを次世代へつなげていきたいと話されました。

※チャイルド minder イギリス発祥の家庭的な保育を行う専門家。資格取得後は保育現場や在宅での少人数保育、施設の開業が可。



チャリティイベント



☆このコーナーで取り上げた方は、「りいびる」ホームページでも紹介しています。

あなたのサードプレイス“りいぶる”へようこそ

“りいぶる”は、家庭・職場に続く第3の場所（サードプレイス）として皆さまをお待ちしています。あなたらしい使い方で、“りいぶる”を活用してください！！

“りいぶる”図書室

“りいぶる”の図書室では、図書3冊、DVDとビデオはどちらか1本、貸出ができます。また、新聞をゆっくり読んだり、インターネット検索もできます。



図書・DVDのご紹介

☆貸出の方法や本の検索など、お気軽にスタッフまでお問合わせください☆

『主夫の花道』



著者：山下 俊樹
画：村上 ジュンコ
出版社：ディスカヴァー21

資格取得のために30歳で脱サラした著者の専業主夫体験記。家事と子育てのエピソードがマンガとエッセイで綴られている。

主夫として子育てをするなかで起こる様々な出来事を通して、日本では母親が担うことが多い子育てを、男性が行うには想像以上の難しさが伴うことがわかる。しかし、この子育て体験で得た貴重な「宝物」こそが、著者の生活を豊かなものに変えたようだ。

『夫婦脳』

—夫心と妻心は、なぜこうも相容れないのか—



著者：黒川 伊保子
出版社：新潮文庫

脳と言葉が専門の科学者である著者が、日常で起こる夫婦のすれ違いを脳科学的に解説し、また自身の例を交えながら男女のすれ違いを優しく説きほぐしてゆく。

夫婦のみならず職場や子育て環境など、あらゆる場面で役に立つ内容が満載されている。読み進めるうちに、熟年離婚を回避するためのノウハウにもたどり着く。「腑に落ちる」に尽きる一冊だ。

『のんちゃんのリ弁』

DVD



2009年公開
監督：緒方 明
主演：小西 真奈美

生活力のない夫に見切りをつけ、娘と二人で実家に戻ったものの、仕事は見つからず厳しい現実に直面する主人公。人情味豊かな下町を舞台に、もがきながらもひたむきに自分のやりたいことを見つけていく過程をハートフルに描く。

シングルマザーの自立の難しさや偏見などをリアルに表現し、それに立ち向かう主人公の明るさとバイタリティにエールを送りたくなる。

和歌山県男女共同参画基本計画【第3次】を策定

男性にとっても女性にとっても生きやすい「元気な和歌山」の実現に向けて、第3次計画（計画期間：平成24年度から5年間）を策定しました。

新たな長期目標を「男女共同参画でつくる 元気な和歌山」と設定、施策の柱は5つとし、数値目標も見直しました。

◆5つの施策の柱

- (I) 元気な和歌山実現に向けた男女共同参画の推進
- (II) 政策・方針決定過程での男女共同参画の促進
- (III) 働く場と家庭における男女共同参画の推進
- (IV) 男女間のあらゆる暴力の根絶
- (V) 男女が互いの性を尊重する意識づくり・健康づくり

◆主な重点項目

- ★県の審議会及び各分野での女性の登用促進
- ★女性が活躍できる環境整備
- ★市町村男女共同参画推進条例及び計画策定への働きかけ
- ★DV防止教育の推進
- ★防災分野における方針決定過程への女性の参画推進

◆数値目標の設定（一部を紹介します。）

平成28年度までに…

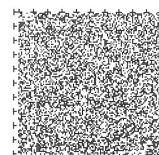
県の審議会等委員に占める女性の割合を38%に！
(H23.6 現在 32.5%)

市町村における男女共同参画基本計画策定率を80%に！
(H24.4 現在 50.0%)

男女共同参画推進事業者の登録数を80に！
(H24.6 現在 51)

本計画を推進していくためには、県民の皆さまをはじめ企業や関係団体等の皆さまの連携・協力が必要です。県も様々な取組を効果的に進めていきますので、「元気な和歌山」の実現に向けてご理解、ご協力をお願いいたします！

※詳しくは、ホームページをご覧ください。 <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031400/danjo/index.html>（「和歌山県男女共同参画」で検索できます。）



男女でつくる元気な和歌山 ポスター募集

NO!
デートDV

家事ダン
育メン
ボクにおまかせ

夢ある未来へ
男女の力

3つの標語、または自分で考えた標語を
必ず盛り込んでご応募ください!

※応募票はホームページから
ダウンロード可



- 【応募資格】 県内在住、在学の小中高生
 【規格】 ・四つ切画用紙(ヨコに使用)
 ・色彩、画材、画法は自由
 ・未発表のものに限る
 【締切】 **平成24年9月14日(金)**
 【賞】 最優秀賞、優秀賞、参加賞
 【応募方法】 作品の裏面に、必要事項を記入したポスター応募票を貼付し、“りいぶる”へ提出してください。(郵送可)

“りいぶる”相談室 相談受付専用ダイヤル 073(435)5246

相談料は無料。専門の相談員がお話をおうかがいします。秘密厳守です。
 ナンバーディスプレイは使用してありません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、様々な悩みや相談に、女性相談員が応じます。

電話相談

☎水木金土 9:00 ~ 20:30
 (受付は20:00まで)

〇〇〇〇〇〇 9:00 ~ 17:00
 (受付は16:30まで)

面接相談 (予約制・女性のみ)

☎水木金土 9:00 ~ 17:30
 (受付は16:30まで)

〇〇〇〇〇〇 9:00 ~ 16:00
 (受付は15:00まで)

女性のためのカウンセリング

女性が抱えるこころの問題に、女性カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

〇〇〇金〇〇 13:00 ~ 16:40
 ※第5週は除く

予約制、各日4人まで。
 相談時間は1人40分です。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に、女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

月4回 13:00 ~ 14:50

※不定期ですので、日程は
 “りいぶる”までご確認ください。

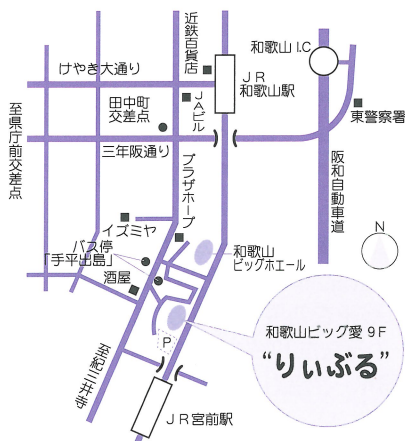
予約制、各日3人まで。
 相談時間は1人30分です。

男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などの様々な問題に、男性相談員が応じます。

〇水〇〇〇〇 16:30 ~ 20:30
 ※毎月第2水曜日

予約優先です。(匿名可)
 相談時間は1人50分程度。



◆発行 和歌山県男女共同参画センター

“りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

TEL (073) 435-5245

FAX (073) 435-5247

《メールアドレス》 libre@sirius.ocn.ne.jp

開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時

日曜：午前9時～午後5時30分

休館日 毎週月曜・国民の休日(祝日)

年末年始(12月29日～1月3日)

HPは“りいぶる”で検索してください。